

岐阜米穀(株) メールマガジン

今回のテーマは

「食料と燃料との相関関係」

ロシアのウクライナ侵攻による貿易の停滞に伴い、途上国を中心とする国々が食料危機に直面しています。主食の小麦、トウモロコシなどの穀物価格が高騰し、食料入手が難しく、飢餓のリスクが高い発展途上国で高まってしまっているのです。

全体を見渡すと、決して食料、とりわけ穀物が不足しているわけではなく、用途の違いによって、需給逼迫が生じているのです。

米農務省の統計では家畜飼料に、世界全体で小麦が約1億6000万トン、トウモロコシでは約7億5000万トンです。小麦生産量の約65%が家畜の餌になる計算です。食料が不足してくると家畜を通さずに人間の食になってくるのです。

また、穀物の多くがバイオ燃料用に使われている。トウモロコシの40%の原料がバイオエタノールの生産となります。エタノールの原料にトウモロコシで、自動車の燃料として消費されています。中国も同様の取り組みをしています。

穀物のバイオエタノールを食用に向ければ、食料危機は軽減される食料保険のポジションとなってくるのではないのでしょうか。

岐阜米穀では玄米食だけでなく、オートミールと大麦の商品化に力を入れています。同じ考え方で飼料として使われている穀物を、人が食べ易く慣れられるような考え方で新しい商品を開発しています。

トウモロコシを原料としたバイオエタノールは、ガソリンより割安で、化石燃料ではないため「脱炭素にも貢献する」としています。

現実的に、トウモロコシの国際価格の高騰が続く限り、農家は、用途に関係なくトウモロコシを作り続けていくことでしょう。

いかに食料と燃料の世界バランスを整え、これからの世界的な食糧危機を緩和していくのか、諸国の知恵が問われることとなります。

----- 炊飯器で炊くオートミールごはんのご紹介 -----

4595641702803	炊飯器で炊けるオートミールごはん (税抜)	2kg	1,030 円
4595641702834	炊飯器で炊けるオートミールごはん 円 (税抜)	500g	370

炊き増えしてローコスト
時短 (浸漬カット、炊飯時間短縮)
簡単なオペレーション、急に必要な時に
高タンパクでウリに使えます
もち麦より高栄養化
お米と相性が良い「生タイプ」

【使い方】

白米に混ぜる場合
水加減はお米と同じです
例：白米3カップ、本品1カップの時、水は4カップ

本品 100%で炊く場合
水加減は白米の時より少なく約 75%の水
例：本品4カップの時、水3カップ
水を入れたらかき混ぜて、すぐにスイッチ
蒸らし不要

おすすめのメニュー
炊き込みご飯、混ぜ込みご飯でも使えます
おにぎりは冷まさないですぐに握ってください

試食用サンプルセットを準備しておりますので、どうぞお申し込み下さいますようお願い申し上げます。